



東京農工大学創基150周年記念事業

創基150周年を超えて ~人とかがやく農工大の新たな歴史~

1874年(明治7年)4月、内務省勸業寮内藤新宿出張所に置かれた農事修学場が、本学農学部のはじまりです。同じく1874年4月、内務省勸業寮内藤新宿出張所に設けられた蚕業試験掛が、本学工学部になりました。農学部・工学部それぞれのルーツである農事修学場・蚕業試験掛が、1874年に設置されたことから、本学では1874年を創基の年としています。2024年に創基150周年を迎えるにあたり、「東京農工大学創基150周年記念事業」の様々な取組を行ってまいります。

東京農工大学創基150周年記念事業 関連企画 (予定)

記念式典の挙行

新宿御苑共催企画の実施

「農工大の香り」の制定

学生広報スタッフの任命

冠事業・冠イベントの実施

創基150周年記念事業の取り組みは、ウェブサイトで随時更新していきます。

農工大 150周年 検索



東京農工大学の“今”を発信しています！

YouTube

受験生、一般の方向けの公式チャンネル
チャンネル登録して最新動画をチェック！

本学の紹介や学生・教員インタビュー、イベントの様子などを配信中。「農工大生のものすごい研究」では、学生達に研究のやりがいやおもしろさについて聞いています。実際の研究活動の様子や、研究室の雰囲気ぜひご覧ください。



LINE公式アカウント

@tuat
学校行事の様子や、イベント情報をお知らせします！

入試に関する情報、オープンキャンパスなどの入試イベント情報、学校行事の様子や、学生の活動などのお知らせを発信しています。ぜひ“友だち登録”をしてください。



大学ウェブサイト

<https://www.tuat.ac.jp/>

本学の旬なニュース、イベント情報などを随時更新しています。大学紹介動画もご覧いただけますので、ぜひチェックしてください。



Instagram

@tuat_hakkenkoken
ハッケン コウケンと農工大を散策しよう

公式キャラクターの「ハッケン コウケン」が、大学の魅力、キャンパスの日常、研究の様子を発信していきます。ハッケンコウケンと活動してくれる「#ハッケンコウケンサポーター」の投稿にもご注目ください。



X

@TUAT_all
東京農工大学の“今”をつぶやきます！

研究成果の紹介や、イベント情報、メディア出演予定など、バラエティに富んだ内容をポストしています。ぜひフォローしてください！



受験生向け特別サイト

受験生の気になる
キャンパスライフ情報を大公開！

研究室やサークル、農工大生の1日の様子、活躍する卒業生など、学生生活の情報をご紹介します。受験生の皆様へ向けた情報もご覧いただけます。



TUAT Express

2023 - 2024

この冊子は最近の東京農工大学の活動をお伝えるものです

工学部 応用化学科
岩間悦郎研究室の皆さん



CONTENTS

- 活躍する卒業生 ■研究室教育 ■キャンパスライフ ■就職実績 ■女性未来育成機構 ■小金井動物救急医療センター

表紙写真 工学部 応用化学科 岩間悦郎研究室

ナノテクノロジーや結晶構造制御を駆使することで、高速かつ安定な充電が可能な次世代の高速蓄電池やキャパシタの新規電極材料創製・デバイス作製に取り組んでいます。

最先端で活躍する農工大 卒業生

東京農工大学で学んだ卒業生たちは、学術研究分野のほか、産業界など社会で広く高い評価を受けています。第一線で活躍する卒業生2名に話を聞きました。

Agriculture



国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
野菜花き研究部門 露地生産システム研究領域
露地野菜花き生産技術グループ 研究員

杉浦 妃奈子さん

2022年3月、東京農工大学大学院農学府農学専攻生物生産科学コース修了。在学中から植物関係の研究に従事。オープンキャンパスで緑豊かな府中キャンパスを見て、農工大への進学を決めた。

Technology

住友電気工業株式会社
生産技術本部
生産技術部 モノづくり強化推進室 主査
宮谷 郁哉さん

住友電気工業株式会社
生産技術本部
生産技術部 モノづくり強化推進室 主査

宮谷 郁哉さん

2012年3月、東京農工大学大学院工学部機械システム工学専攻博士前期課程修了。在学中は、石田寛教授の研究室に所属。当時、小金井キャンパスで開催されていた工学部学園祭の実行委員を務めていた。

グローバルな
事業展開

Global Business Activities



Glorious Excellent Company
の実現に向けて

Aiming to become a Glorious Excellent Company

2022年度中期経営計画「22VISION」
Mid-Term Management Plan (VISION 2022)



技術の系譜

History of Our Technological Advancement



農作物の「斉一性」向上を実現して、生産者をサポートしたい！

茨城県つくば市にある農研機構*の野菜花き研究部門に勤務しています。2022年4月に入構して、同年10月から現在の露地野菜花き生産技術グループに所属しています。

具体的な業務としては、露地野菜の生産技術向上につながる研究や生産を予測する技術開発などを行っています。研究対象はブロッコリーで、週2回、敷地内の圃場に出、どの段階でどれだけ育つか、いつどのくらい収穫できるかといった定量調査を行っています。最近では、ドローンを使って撮影したデータを解析するような研究もしています。

研究目標は、「斉一性」を向上させることです。これは、作物の開花や収穫時期を揃えて栽培することを目指すものです。例えば、ブ

ロッコリーであれば、可食部分である「花蕾」の大きさを揃えることで、機械での一斉収穫が可能になります。生産性を向上させることで、人不足に悩む生産者をサポートできます。

この仕事の面白さは、現場に近い研究ができることです。私はもともと圃場に出て、手を動かす研究をするのが好きだったので、今の職場は自分に合っています。現在も研究者として、学会発表や論文執筆に向けて研究に取り組んでいます。農研機構に勤務しながら、論文を書いて、博士号を取得する先輩もいます。ちなみに、全国の農研機構には、東京農工大学の卒業生が数多く勤務しています。

在学中は、農学部生物生産学科で学び、修士課程まで「植物栄養学研究室」で、植物栄

養生、土壌や肥料の研究に従事しました。私の研究テーマは、作物の生育に深く関与する土壌中のリンを有効利用することです。サイズに肥料として硫黄を与えて、土壌中のリンの形態変化を観察しました。土壌中のリンは難溶性なのですが、一定量の硫黄を与えることで、作物が吸収しやすくなることがわかりました。この研究論文で日本土壌肥料学会のSSPN AWARDという論文賞をいただくことができ、大きな自信になりました。

今後の目標は、自分の研究成果を現場の生産性向上に役立てることです。まずは、「斉一性」のテーマを究めて、幅広い露地野菜の栽培をコントロールできる技術を確認したいと思っています。

*国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

インダストリアル・エンジニアリングで「強い工場」をつくる！

住友電工の生産技術本部で、社内および関係会社の「モノづくり強化」に取り組んでいます。目指すは「強い工場づくり」です。直近では、情報通信で使われる光ファイバ関連製品の工場で生産ラインの改善に取り組んでいます。弊社には、環境エネルギー、情報通信、自動車、エレクトロニクス、産業素材の5つのカテゴリーがあり、これらの領域に共通するモデルとなるような工場や生産ラインの仕組みをつくるのが目標です。

主な使命は、製造コストの削減とリードタイム（製造期間）の短縮です。この2軸を念頭に置き、対象となる工場に常駐し、現場の声を聞きながら改善策を考えます。業界用語としては、「インダストリアル・エンジニア

リング（IE）」という仕事で、管理工学、経営工学と呼ばれる研究分野になります。大学時代は機械工学を学んでいたのですが、入社してから専門知識を深めていきました。

この仕事の面白さは、工場の仕組みを変えたとその成果が数値に加えて、人やモノの動きにも表れることです。改善の結果、現場スタッフから「ありがとう」と言われることもあり、大きなやりがいになります。

学生時代は、工学部機械システム工学科で学び、大学院までメカトロニクス系の研究室で研究を続けました。研究テーマは「能動嗅覚センシングシステムの開発」でした。犬の鼻を模倣したデバイスをつくり、ガスが流れてくる方向を判定しやすくする構造や方法を

研究していました。現在の仕事とは直接つながりませんが、数値データとしてのガスセンサの応答値と目に見えないガスを煙によって「見える化」し、データと事実のセットで現象を理解し、解決策を具体的に考えるプロセスは、そのまま今の仕事でも役立っています。

今後の目標は、工場での製造工程だけでなく、サプライチェーン全体を最適化できるようになることです。営業から材料の仕入れ、物流まで把握して、一連の流れを改善する提案をできるようになりたいです。

日本の製造業はまだニーズが高く、人材も不足しています。機械工学などハードウェアの知識を深めることは、将来の就職を考える上でますます有利になると思います。

研究室で身につく専門性と社会人力

東京農工大学の学びの拠点はなんといっても研究室。
熱心な教員の丁寧な指導のもとで専門性と社会人力が鍛えられます。

Veterinary Surgery

農学部 共同獣医学科 獣医外科学研究室

シルクに着目した“農工大発デバイス”で 循環器疾患の新しい治療法を確立したい！

近年、獣医療はヒトの医療とともに大きく進歩しています。ヒトの寿命が延びるにつれ、コンパニオンアニマルと呼ばれるいわゆるペットの健康寿命も年々延びています。寿命が延びるなか、ヒトでも動物でもよく出くわすようになるのが「循環器疾患」と「腫瘍性疾患」。私の研究では、特に「循環器疾患」の治療法や診断法の開発を目指しています。

循環器疾患の中には、心臓の部屋を隔てる壁に穴が開いている疾患や大事な血管が狭窄してしまう疾患などがあります。こうした疾患は先天的に現れることも多く、有効な治療法としては穴をふさぐためのシートやパッチといった「治療デバイス」が用いられてきました。しかし、従来使われてきたデバイスは、長期間の生体内残存によって身体に悪影響を及ぼしてしまう可能性もあったのです。生後すぐにデバイスを使用する場合には、そうした悪影響は寿命にも影響してしまう。そこで私の研究では、生体適合性の高い「シルク」

を用いた治療デバイスの開発を目標としています。工学部生命工学科の中澤靖元教授との共同研究で、“農工大発の新デバイス”を実用化するために実験を進めているところです。私自身も農工大の農学部獣医学科を卒業して、この研究テーマは学部生時代から取り組んできたものです。子どもの頃から「動物に関わる職業に就きたい」という思いがあり、命を救うことができる獣医を目指しました。獣医といっても働き方は多様なのだと知

ったのは大学に入学してからです。獣医は動物病院だけでなく、公務員として動物の伝染病の防止に携わったり、製薬会社に就職したりするような道もある。そうした選択肢を知ったうえで、現在は研究活動と農学部附属の動物医療センターでの外科医を兼務し、理想的な働き方ができています。直近の目標は、自分が開発した新しい治療法を患者さんに実践すること。ヒトの医療への応用も含め、獣医学で動物と人間の生活を支えたいです。



農学研究院 動物生命科学部門

島田 香寿美 助教

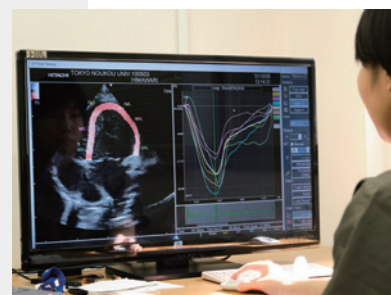
岐阜大学連合獣医学研究科博士課程修了。博士(獣医学)。大阪医科薬科大学研究支援センター実験動物部門助教を経て、2021年7月より現職。専門は獣医外科学。



研究室ではイヌ(ウィペット)とネコ(ノルウェージャンフォレストキャット)を飼っていて、研究の躍進に貢献している。



現在開発中の治療デバイス。材料工学の観点から工学部の中澤先生も協力。



エコーによって定量的に診断ができるよう、解析法の評価検討を行っている。



農学部共同獣医学科5年

細木真梨乃さん

新潟県立新潟高等学校出身
循環器疾患に対して、動物への負担が少ないエコーの動画で診断ができるよう、解析方法を検討しています。動物は自ら不調を訴えることが難しいので、有用な診断方法に繋がればいいと思います。



農学部共同獣医学科6年

苅谷佳都さん

岐阜県立可児高等学校出身
心疾患への内科的な治療法として「キマーゼ」と呼ばれる酵素に着目した治療薬の開発があり、私はキマーゼの動きを研究中。この経験を活かし、就職先の動物病院では専門性を持って活躍したいです。

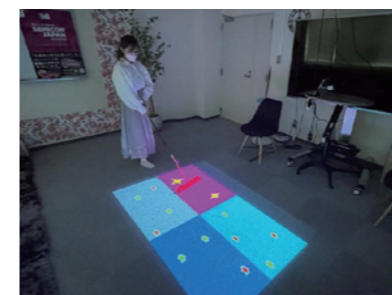
Artificial Intelligence / Internet of Things

工学部 知能情報システム工学科 中山悠研究室

多種多様なモノ・ヒト・自然をつなげる AI/IoTシステムを構築する！

研究対象は、AI(人工知能)とIoT(Internet of Things/モノのインターネット)の分野です。多種多様なモノ・ヒト・自然を上手につなげるAI/IoTシステムの構築を目指しています。特に注力しているのは、「サイバーフィジカル」の領域です。これはサイバー空間と現実空間を行ったり来たりする仕組みの研究と考えてもらえばいいでしょう。政府が提唱している「Society 5.0」のコンセプトを実現する研究だといえます。

具体的な研究テーマとしては、センシング技術を用いた人間の行動認識・行動支援技術の開発があります。現在は、文具メーカーのコクヨと共同で、実際のオフィスで人間の行動をカメラで記録し、どのような場所とタイミングで偶発的なコミュニケーションが発生するかを検証しています。取得したデータを解析して、よりよいオフィス設計を考えるためのエビデンスとして役立てるつもりで



センシング技術とプロジェクトを用いた行動支援のシステムを開発。



最先端のAI技術、次世代通信、環境モニタリングなど幅広い興味・関心を持つ学生が集まっている。



工学部知能情報システム工学科

中山 悠 准教授

東京大学大学院情報理工学系研究科電子情報専攻博士課程修了。博士(情報理工学)。NTT勤務後、青山学院大学理工学部助教を経て現職。株式会社Flyby代表取締役。

す。これはIoTを駆使して、スマートオフィス、スマートホームを実現する研究です。ほかにもデジタルカメラのイメージセンサを用いた可視光通信、水中IoT技術を使った環境モニタリングなど研究テーマは多岐にわたります。共通しているのは、現実世界のデータを扱うことです。センシングしたデータを分析・加工して、サイバーフィジカルの領域で新たな技術開発に役立てるのがこの研究の面白さです。

もともと私は大学で農学を専攻し、自然環境のモニタリングから情報通信の研究に関心を持つようになりました。そのためAI/IoTを駆使して、さまざまな社会課題を可視化し、解決する方法を提示したいという考えが根底にあります。2023年に入り、AIの進化が加速しています。将来どのような職業に就くにもAIを使いこなすスキルは求められます。ここで企業や行政との共同研究を通じて、将来像をイメージしてほしいと思います。



工学部知能情報システム工学科4年

隅野未宇さん

宮城県立仙台第一高等学校出身
コクヨとの共同研究に参加しています。AIの深層学習を駆使して、オフィスを撮影した画像データから人の行動を分析する技術開発に挑戦中です。大学院に進学し、国際学会で発表するのが目標です！



大学院工学部知能情報システム工学専攻博士前期課程1年

比嘉諒人さん

国立沖繩工業高等専門学校出身
光カメラ通信の研究をしています。LEDなど可視光を使った通信技術で、映像コンテンツに人間には見えない信号を埋め込めたりできます。研究室で学んだ画像系の技術を将来の仕事で役立てたいです。



大学院工学部知能情報システム工学専攻博士前期課程1年

安井唯華さん

国立お茶の水女子大学附属高等学校出身
水中ドローンと光通信技術を用いた水中センサネットワークを構築しています。LEDなどの可視光を使った通信技術は、従来の超音波通信より低コストで、海中探査などの応用が期待されています！

農工大生はサークル活動も全力投球!!

東京農工大学では、共通の興味をもった学生が運動部や文化系サークルなどに集い、アクティブに活動しています。講義や実験と並行して、充実したキャンパスライフを送り、より豊かな人間性を育てている4団体を紹介します。

馬術部

Equestrian club



練習で乗っているのは引退した競走馬がメイン。あのディーブインパクトの産駒も！ 右写真が次期主将の後藤歩さん。



「人馬一体」を体感できる瞬間に馬術の醍醐味を感じます！

農学部生物生産学科3年 後藤 歩さん

11月に行われた全日本学生馬術競技大会の総合馬術競技において、61年ぶりに団体準優勝という快挙を達成しました。全日本学生馬術競技大会の種目は馬場馬術、障害馬術、クロスカントリー。試合はほぼ毎月あり、馬6頭を専用のトラックで運んで遠征をすることも。ほとんどのメンバーは大学から馬術を始め、全国大会を目指します。練習は火曜から日曜まで、朝5時30分から8時30分くらいまで続きます。

馬術を続けていると馬の気持ちがわかってくる瞬間があります。まさに「人馬一体」の感覚で、これがたまりません。馬の世話も学生がすべてやるので、特に農学部の学生は、経験が勉強に活かされることも多いです！

空手道部

TUAT KARATE Club



前列中央が主将の佐藤広樹さん。空手道は、エクササイズや精神統一の手法として、卒業後も続けられるのが魅力ですよ！



空手で精神統一する時間はストレス解消にもなります！

工学部機械システム工学科4年 佐藤広樹さん

約70年続く歴史ある団体です。部員は約40名で7割以上が工学部生です。年2回の「審査会」があり、そこで型と約束組手を行います。約束組手とは、試合形式の自由組手と違い、あらかじめお互いに攻防の技を決めて行う組手です。空手道の魅力は、実践を通して、礼儀作法や精神統一を学ぶこと。勉強や研究に煮詰まったときは、空手に集中する時間がストレス解消になります。OB・OGとのつながりが強く、稽古に遊びに来た先輩が就職活動の相談にのってくれることも。

年2回の合宿のほか、饅頭食い大会など、ユニークなイベントもあります。とにかく明るい雰囲気の団体です。初心者大歓迎なので、いつでも見学に来てください！

アカペラサークルANIT

ANIT



右から2番目が代表の宮本拓実さん。友達の輪を広げたい目的の人も大歓迎！週1参加くらいのメンバーもたくさんいますよ。



ハーモニーのクオリティを高める奥深い世界を一緒に楽しもう！

農学部環境資源科学科2年 宮本拓実さん

25年くらい前にできたアカペラサークルで、メンバーは100名くらいいます。毎週水木土曜の週3回、府中キャンパスで練習をしています。春夏秋冬に府中キャンパスの教室や食堂などで定期的にライブを行っています。外部向けには、農工祭でのライブのほか、ライブハウスを借りて行うサマーライブもあります。2023年は、高円寺のライブハウスに200名くらいの来場者が集まりました。

コーラス中心、ボイスパーカッション中心など、バンドの組み方は自由で、サークル内で複数のバンドに参加している人もいます。音楽経験がなかったメンバーも多く、誰でもすぐ始められます。ハーモニーの質を高める奥深い世界を一緒に楽しみましょう！

宇宙工学研究会 Lightus

TUAT Space Engineering Club



前列中央が代表でロケット班構造系責任者の角采音さん。男女比は6:4で女子学生も多数います。宇宙やロケットに興味があるメンバーが集まっています！右写真は今年のロケット。



ハイブリッドロケットとCanSatを独自に設計・製作しています！

工学部機械システム工学科3年 角采音さん

ハイブリッドロケットやCanSatの設計・製作を行う大学公認ものづくりサークルです。前者は、液体と固体のハイブリッド燃料で飛ぶロケットのこと。今年も伊豆大島宇宙イベントや能代宇宙イベントで実験を行い、モデルロケットの打ち上げに成功しました。一方、後者は、空き缶サイズの人工衛星のこと。上空約30m地点から地上に落下し、指定の場所に戻る技術を競う「ランバック競技」出場に向けて準備中です。ロケット班は構造系、電装系、推進系、シミュレーション系の4チーム、CanSatは構造系、電装系の2チームでそれぞれ目標を決めて活動中。2024年3月に伊豆大島で、CanSatを搭載したロケットを打ち上げることを目標に頑張っています！

【生物生産学科】 渥美牛群管理サービス、EIMEI、キリンホールディングス、静岡県農業協同組合、新宿高野、タミノイ酢、中央畜産会、東京南農業協同組合、ニッポン、山寿セラミックス、農林水産省、国土交通省北海道開発局、神奈川県、千葉県、進学/東京農工大学(30名)、東京大学(4名)、京都大学、アミューズメントメディア総合学院

【応用生物科学科】 国大セミナー、スタッフサービスエンジニアリング事業本部、全国農業協同組合連合会、新田セラチン、BMLフード・サイエンス、農林水産省、埼玉県、進学/東京農工大学(56名)、東京大学、京都大学(2名)

【環境資源科学科】 アジア航測、インフォテック朝日、SBI新生銀行、大建工業、大東建託、TREホールディングス、長野森林組合、パイホロン、日立製作所、ヒネル、わらべや日洋食品、東京都、進学/東京農工大学(42名)、東京大学(3名)、山梨大学、京都大学

【地域生態システム学科】 アイペット損害保険、エルムデールファーム、NEC通信システム、オリエンタルコンサルタンツ、国際NGO オイスカ、国際航業、国土防災技術、SHIFT、住友林業緑化、ソーダニッカ、東京海上日動システムズ、東芝インフラシステムズ、都市再生機構、日産緑化、日総工産、日本通信サービス、日立ソリューションズクリエイト、星野リゾートマネジメント、ミサワ不動産、山崎製パン、ヨドバシカメラ、原子力規制庁、林野庁、東京都(2名)、埼玉県、進学/東京農工大学(36名)、東京工業大学、京都大学、岐阜県立森林文化アカデミー

【共同獣医学科】 アリーズ動物病院、伊藤忠テクノソリューションズ、いまい動物病院、牛浜ペットクリニック、MGL学園、OATアグリオ、ガーデン動物病院、かない動物病院、久米川みどり動物病院、山陽動物医療センター、ジャパン・スタッブブック・インターナショナル、住友化学、ゼリア新薬工業、ダクトリ動物病院(2名)、田園調布動物病院、動物先端医療センター(2名)、東洋紡、ニプロ、日本丸天醤油、ネオパッツVRセンター、NOSAI北海道 道央統括センター、ファミリー動物病院、ベル動物病院、ヤクルト本社、ワールド動物病院、厚生労働省、農林水産省(2名)、東京都、新潟県、進学/東京大学

【生物生産科学コース】 青森県産業技術センター、朝日アグリア、アマゾンウェブサービスジャパン、伊藤忠エネクス、沖電気工業、オハヨー乳業、カゴメ(2名)、栗田工業、光輝、サカタのタネ、沢井製薬、三生医薬、シグマクシス、シンジェンタジャパン、製品評価技術基盤機構、ゼネット、全国酪農業協同組合連合会、ソフトバンク、大日本除虫菊、タカナシ乳業、タケショー、畜産技術協会、東洋紡、凸版印刷、鳥越製粉、日清オイリオグループ、農業・食品産業技術総合研究機構、富士通、マルハニチロ、メンバーズ、ヤクルト本社(2名)、レイヤーズコンサルティング、農林水産省(2名)、福島県、愛知県、鹿児島市、進学/東京農工大学(4名)

【応用生命化学コース】 アサヒビール、味の素AGF、伊藤ハム、エバラ食品工業、関東化学、キュービー醸造、KOSE、沢井製薬、鈴廣蒲鉾本店、第一三共、ディスカバー・ジャパン、デアリア食品、東急不動産、西川計測、ニチレイロジグループ本社、日清オイリオグループ(2名)、日清製粉、日本ハムファクトリー、日本食品分析センター、ネットプロテクションズ、ビジネスエンジニアリング、日立システムズ、ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング、平和酒造、ベルタ、丸善石油化学、三井製糖、メディアベース、森永乳業、進学/東京農工大学(6名)、Arizona State University

【自然環境資源コース】 アジア航測、アシスト、伊藤忠商事、永大産業、エイト日本技術開発、エディット、NHKテクノロジーズ、エヌエヌ生命保険、NJS(2名)、MS&ADインターリスク総研、応用地質、オルガン、兼松、キーエンス、クボタ環境エンジニアリング、建設技術研究所(2名)、サントリーホールディングス、ソリマチ、ダイセキ、大日本印刷、大日本コンサルタント、デイファイブコンサルティング、東京電力エナジーパートナー、東芝エネルギーシステムズ、東芝デジタルソリューションズ、トーマツ、長瀬産業、日本製紙木材、日立システムズ、日立製作所、日比谷アメニス、フィードワン、富士通、レンゴー、東京都(2名)、練馬区、稲城市、千葉県、進学/東京農工大学

【食農情報工学コース】 NTCコンサルタンツ、鹿島建設、基礎地盤コンサルタンツ、ケミカルグラウト、日本工営、パシフィックコンサルタンツ、東日本旅客鉄道、福島イノベーション・コースト構想推進機構、八千代エンジニアリング

【地球社会学コース】 アジア航測、構造計画研究所、スミセイ情報システム、全国農業協同組合連合会、デリカフーズ、東芝デジタルエンジニアリング、日本農産工業、AKKODISコンサルティング、教員、進学/東京農工大学(3名)

【国際イノベーション農学コース】 シミック、世田谷自然食品、東京建設コンサルタント、日本総合研究所、ミヨシグループ、レックスインターナショナル、国土交通省、愛知県、Forestry Administration、Ministry of Agriculture of Uzbekistan Republic、National Institute of Molecular Biology and Biotechnology、進学/東京農工大学(2名)

【環境資源物質科学専攻】 アジア航測、インフォテック朝日、SBI新生銀行、大建工業、大東建託、TREホールディングス、長野森林組合、パイホロン、日立製作所、ヒネル、わらべや日洋食品、東京都、進学/東京農工大学(42名)、東京大学(3名)、京都大学、山梨大学

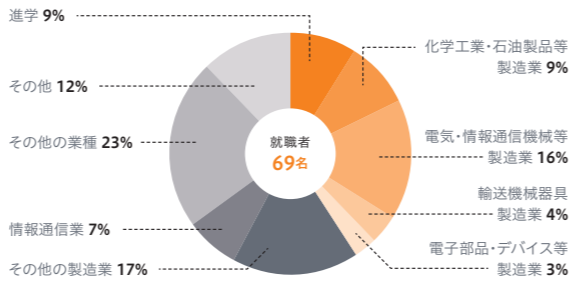
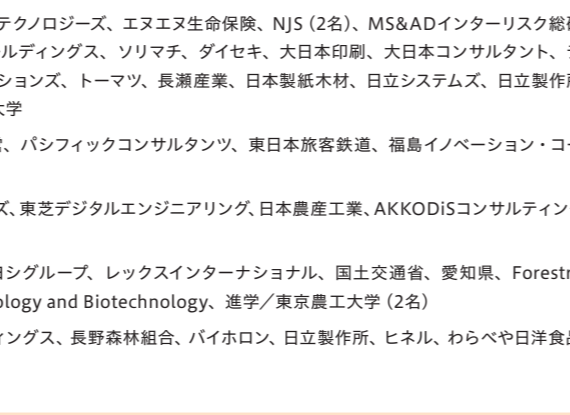
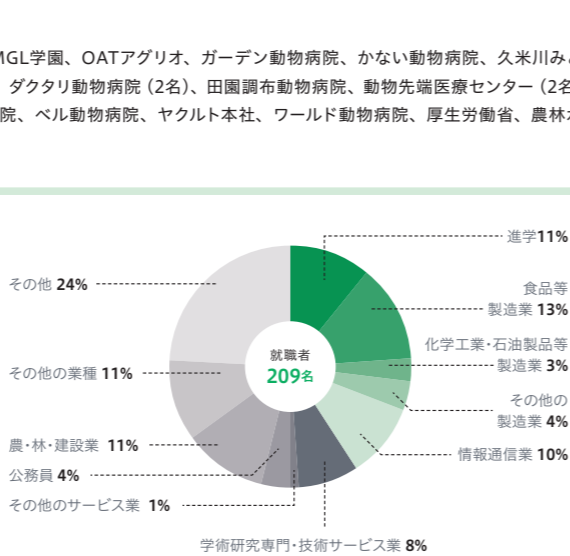
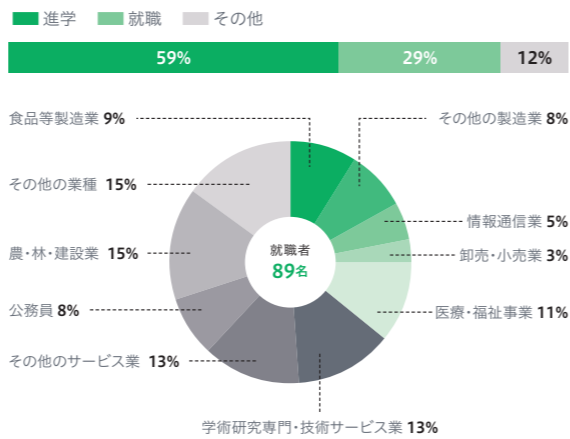
【生物機能システム科学専攻】 アジア航測、アズビル(2名)、伊藤園、NTTデータ・アイ、荏原製作所、鹿島建設、川崎重工業、キヤノン、キヤノンファインテックニスカ、クラレ、古河電気工業(2名)、コニカミノルタ、昭和産業、ズーム、スズキ、スタンレー電気、セコム、ソニー、ソニーグループ、大成建設、テルモ、デンカ、ニコンシステム、日産自動車、日本アルゴリズム、ハウス食品、はごろもフーズ、長谷川香料、パナソニック(2名)、パナソニックホールディングス、ハリマ化成グループ、日立システムズパワーサービス、日立製作所、BIPROGY、不二製油、富士通、三井化学、三菱ケミカルエンジニアリング、三菱電機、ヤマハ発動機、ライオン、理研グリーン、リンテック、レクストホールディングス、埼玉県、進学/東京農工大学(4名)、大阪大学(2名)

【食料エネルギーシステム科学専攻】 ソフトバンク、東海カーボン、白元アース、リパネス

就職実績も堅実！農工大生の進路

2022年度実績 2023年5月1日現在

東京農工大学の卒業生・修了生は、就職先から高い評価をいただき、毎年多くの求人募集が届きます。一般企業や官公庁、地方自治体などで社会人としての歩みをスタートさせ、さまざまな第一線で活躍しています。



【生命工学科】 イーピーエス、NTTデータ、クラウドエース、タイムズサービス、ネミー、mgc、UTエიმ、関東管区警察署、神奈川県、進学/東京農工大学(68名)、東京大学(2名)、東京工業大学、東北大学

【生体医用システム工学科】 富士フィルムソフトウェア、インテック、富士フィルム医療ソリューションズ、Meiji seikaファルマ、伊藤忠テクノソリューションズ、ヤマトシステム開発、東日本電信電話、秀斗、進学/東京農工大学(42名)、東京大学(3名)、筑波大学

【応用化学科】 出雲村田製作所、NTTデータ、大綱、JFEプロジェクトワン、スタッフサービス・エンジニアリング、日本総合システム、フコク、臨海、東京都、進学/東京農工大学(67名)、東京大学(3名)、東京工業大学、明星大学

【化学物理工学科】 エン・ジャパン、大森学園高等学校、オプサス、キヤノンマーケティングジャパン、京セラ、芝浦電子、ノジマ、PIGNUS、フォース、三菱電機トレーディング、MeTa、水戸市、静岡市、進学/東京農工大学(62名)、東京大学(4名)、東京工業大学(2名)、東京医科歯科大学、東京都立大学、京都大学

【機械システム工学科】 NTTファシリティーズ、荏原製作所、FBS、キオクシアシステムズ、京セラ、コネクテッドロボティクス、鳥津製作所、スタッフサービス、CEVOL、全日本空輸、シチズンマシナリー、東芝トランスポートエンジニアリング、日産自動車、日進工具、日本飛行機、日本水工設計、BFT、本田技研工業、マキタ、モディス、ユアマイスター、横河ソリューションサービス、レイズネクスト、進学/東京農工大学(95名)、東北大学(2名)、東京大学、東京工業大学、筑波大学、奈良先端科学技術大学院大学、九州大学

【知能情報システム工学科】 アイヴィス、ICME, inc、AGEST、HRソリューションズ、SCC、カンオ計算機、カヤック、キーエンス、ケイエスジェイ、シオステクノロジー、テクノプロエンジニアリング、東京発電、日本電気、日本プロセス、パーソルAVCテクノロジー、東日本高速道路(2名)、日立システムズパワーサービス、総務省(2名)、東京都、進学/東京農工大学(114名)、東京大学、東京工業大学(2名)、大阪大学、奈良先端科学技術大学院大学(2名)

【生命工学専攻】 アビームコンサルティング、アリミノ、イビデン、AGC、NTT データルウィーブ、ENEOS、LSIメディアエンス、OKIソフトウェア、オリンパス、カルビー、キヤノン、キューブアンドカンパニー、キリンホールディングス、コアコンセプト・テクノロジー、興和、コスモエネルギーホールディングス、シーエーシー、シード、JERA、シスメックス(2名)、ジャパン・ティッシュエンジニアリング、Sky、住友ファーマ、住友化学(2名)、世田谷学園中学・高等学校、SOLIZE、第一三共バイオテック、第一三共ケミカルファーマ、太陽ホールディングス、中外製薬、東光高岳、東ソー(3名)、トクヤマ、凸版印刷、トリケミカル研究所、中村屋、日油、ニッセイ情報テクノロジー、日東紡績、日本ゼオン、日本食品分析センター、日本総合研究所、扶桑化学工業、三菱UFJリサーチ&コンサルティング、メニコン、ヤフー、UACJ、UHA味覚糖、ライオン、レゾナック、小平市、進学/東京農工大学(9名)

【応用化学専攻】 IHI、アクセンチュア、アサヒグループ食品、味の素ファインテクノ、アビ、アンファー、出光興産(2名)、AGC、エーザイ、NOK(2名)、NTTデータ、ENEOS(2名)、貴瞬、キヤノンマーケティングジャパン、コンチネンタルオートモーティブ、JFEケミカル、資生堂、信越ポリマー、住友化学、積水化学、ソニーセミコンダクタソリューションズ、大日本印刷、タカラベルモント、田島ルーフィング、タワー パートナーズセミコンダクター、デクセリアルズ、鉄道情報システム、デンカ、東京エレクトロン、東京化成工業、東京電力ホールディングス、東芝、東芝ITコントロールシステム、TOPPANエッジ、ニコン、ニチアス(2名)、日産化学、日産自動車、日清シスコ、日清製粉ウェルナ、日清紡、日東電工(2名)、日本触媒、ニプロ、日本アイ・ピー・エム、日本オラルク、日本ミラクトラン、日本コピカ、ニューフレアテクノロジー、ピーブレイクシステムズ、日立製作所、日野自動車、プロテリアル、ポリプラスチックス(2名)、本田技研工業、マイクロメモリアジャパン、マグエックス、森永乳業、山本電気、横河電機、リコー、レイズネクスト、レゾナック、国家公務員、埼玉県、三鷹市、進学/東京農工大学(3名)、東京工業大学

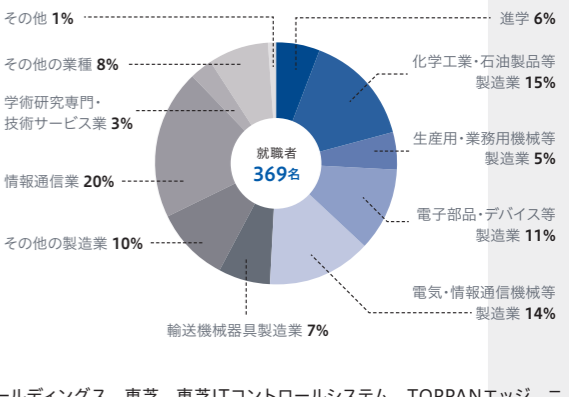
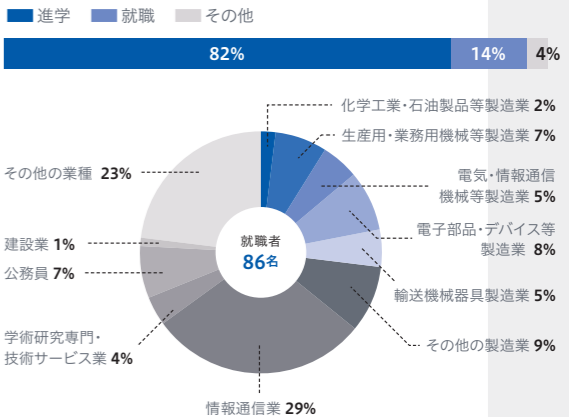
【機械システム工学専攻】 IHI、アズビル(2名)、アマダ、ウエスタンデジタル、SMC、荏原製作所、エル・ティー・エス、川崎重工業(2名)、キーエンス、キオクシア、キトー、クボタ(3名)、クレディセゾン、小松製作所(2名)、KOKUSAI ELECTRIC、サイバーエージェント、シーメンスヘルスケア、JFEエンジニアリング、水道機工、スカパーJSAT、SCREENホールディングス、SUBARU(2名)、住友重機械工業、ソニーグループ、竹中工務店、タダノ、ディスコ、デンソー、東京エレクトロン、東芝デバイス&ストレージ、豊田自動織機、ニコン(2名)、日揮ホールディングス、日産自動車、日本精工、日本アイ・ピー・エム、日本航空電子工業、日本製鉄、日本電子、野村総合研究所(2名)、パナソニック、終ソフト開発、日立製作所(3名)、日立ソリューションズ、富士電機(2名)、富士フィルムビジネスイノベーション(2名)、古河電機工業、ボッシュ(2名)、本田技研工業(2名)、三菱総合研究所、三菱電機、三菱マテリアル、ヤマハ発動機、横河ソリューションサービス、横河電機(3名)、横河マニュファクチャリング、リコー、LITALICOパートナーズ、特許庁、進学/東京農工大学(2名)

【物理システム工学専攻】 アイソル、カシオ計算機、神戸製鋼所、小松製作所、Japan Asset Management、信越化学工業、SUBARU、大日本印刷、タムロン、TDK、東京エレクトロン、東芝、ニコン、日本航空電子工業、日本電気、ニューフレアテクノロジー、野村総合研究所(2名)、日立製作所(2名)、富士通エフサス、富士フィルムビジネスイノベーション、古河電気工業、モルミル、ライオン、ルネサスエレクトロニクス、ルネサスセミコンダクタ マニュファクチャリング、レゾナック、特許庁、進学/東京農工大学

【電気電子工学専攻】 アズビル、アンリツ、インフォコム、ウエスタンデジタル、宇宙航空研究開発機構、エクシオ・デジタルソリューションズ、SBI証券、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、NTTデータ(3名)、NTTドコモ、LG電子、オーシカ、OPTIM、オムロン、カナカ、キオクシア(2名)、ギガフォトン、キヤノン、KDDI(3名)、コニカミノルタ、相模鉄道、住友金属鉱山、ソニー(4名)、ソニーグループ、ソニーセミコンダクタソリューションズ、ソフトバンク(5名)、ダイハツ工業、ディブレイク、東海旅客鉄道、東京エレクトロン、東京電力ホールディングス、東芝インフラシステムズ、トヨタ自動車、日本アイ・ピー・エム、日本電気(2名)、日本電子、任天堂、パナソニックインダストリー、パナソニックコネク、東日本高速道路、東日本電信電話、日立国際電気、日立製作所、日立ソリューションズ(2名)、ビッグツリーテクノロジー&コンサルティング、富士電機、フューチャー、三菱電機、村田製作所、横河計測、横河電機、横河マニュファクチャリング、ライオン、ルネサスエレクトロニクス(2名)、レーザーテック、進学/東京農工大学(2名)

【情報工学専攻】 アイヴィス、AWL、ALGO ARTIS、ウェザーニューズ、エス・エム・エス、エム・オー・シー、オプト、CARTAH、コナミデジタルエンタテインメント、ジャパン・コンピュータテクノロジー、Sky、ソニー(2名)、ソニーセミコンダクタソリューションズ、東京ロボティクス、トヨタ自動車、日本電信電話、日本オラルク、日本電気、任天堂、野村総合研究所(2名)、パナソニックイノベーションシステムズ、BIPROGY、ファナック、富士ソフト、富士フィルムビジネスイノベーション、マイナビ、マイナビ Edge、三井E&Sシステム技研、ヤフー(5名)、読売広告社、ルネサスエレクトロニクス、進学/東京農工大学

【産業技術専攻】 IHI、アルバック、いすゞ自動車、NTTデータ インフォメーションテクノロジー、川崎重工業、キヤノン、京セラ、シュルンベルジェ、スズキ、スマカン、住友化学、積水化学工業、綜研化学、ソニーセミコンダクターソリューションズ、大日本印刷、大陽日酸、竹中工務店、東京エレクトロン宮城、東京電力、東京電力ホールディングス、東洋エンジニアリング、トータルテクノカルソリューションズ、Drone Fund、日産自動車、日本製鉄、ニプロ、日本テキサス・インスツルメンツ、ボッシュ、本田技研工業、三菱重工環境・化学エンジニアリング、三菱製鋼、三菱電機、ルネサスエレクトロニクス、わのせんず、財務省横浜税関、進学/東京農工大学



女性未来育成機構

女性育成

東京農工大学では数多くの女性研究者が活躍しています。女性研究者の育成と活躍をサポートする女性未来育成機構の取り組みをご紹介します。

ライフイベントとキャリアパスに寄り添い女性研究者の育成と活躍をサポート

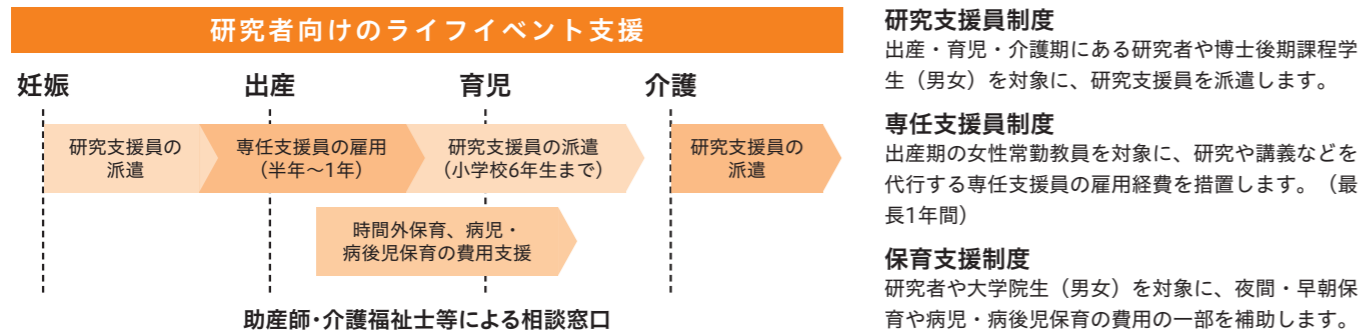
東京農工大学では女性未来育成機構が中心となり、ライフイベント支援やキャリアパス支援など、女性研究者のサポートを行っています。例えば、妊娠や出産に際して研究支援員や専任支援員を派遣するなど、安心して研究を継続できる体制づくりを進めています。私自身も、研究者としてこの制度を利用したひとりです。妊娠中の体での実験は難しく、研究を補助してくれる研究支援員にはとても助けられました。

時代の変化に合わせて、2022年度からは制度の一部対象を男性研究者にも拡大しました。今後もそれぞれが目指すキャリアとワークライフバランスに寄り添い、研究者がいざいざと夢や目標を追い続けられる環境の実現に取り組んでいきます。



女性未来育成機構 機構長
大学院 工学府 生命工学専攻
吉野 知子教授

ライフイベント支援に関する学内サポートシステム



女子学部生・大学院生向けのキャリアパス支援

学部生・修士学生のためのメンター相談窓口

学生メンター制度
女子学部生が、女子大学院生の相談員に学生生活や進路について相談できます。相談形式はオンライン、対面、メールから選べます。

発展型メンター制度
男女修士学生が、男女博士学生の相談員に研究生活や進路について相談できます。相談形式はオンライン、対面、メールから選べます。

女性教員メンター制度
女子博士学生が、女性教員に研究生活や学位取得後のキャリアについて相談できます。相談形式は、対面またはオンラインです。

キャリアパスセミナー

産業界で活躍する卒業生を講師として招き、現在の仕事内容や自身の就職活動について語ってもらうセミナーを実施しています。学部生と大学院生にとって、卒業後のロールモデルを知る機会となっています。

東京農工大学の女性研究者・女子学生比率の推移

	2008年度	2023年度 (5月1日時点)
女子学生比率		
農学系	38.1%	50.3%
工学系	15.9%	27.1%
教員女性比率		
農学系	4.1%	21.2%
工学系	6.6%	12.4%

※工学部、工学府(前期、後期)、農学部、農学府(修士)、連合農学研究科
※農学研究院、工学研究院

女子中高生のためのサマースクール2023

「女子中高生のためのサマースクール」を今夏も開催。中高生とその保護者合わせて70名が参加しました。女性教員による講演や学生との交流会、農学系の体験プログラムなどを通して、理系学部の魅力を発信しました。



動物医療

小金井動物救急医療センター

2022年11月、東京農工大学の2つ目の動物病院として小金井動物救急医療センターが開院。今後、夜間診療や高度な放射線治療を受けられる環境も整えていく計画です。

小金井キャンパスに2つ目の動物病院を開院「いつでも」「高度な獣医療」が受けられる環境を目指す

小金井キャンパスに新たに開院した小金井動物救急医療センターは、府中キャンパスの農学部附属動物医療センターに次ぐ、2番目の東京農工大学附属動物病院です。国内において2つの動物病院を設置しているのは、獣医学部・学科のある大学で本学が唯一です。目指すコンセプトは「いつでも」「高度な獣医療」が受けられる診療態勢です。土日はもちろん、近隣の動物病院があまり診療を行っていない祝日・年末年始も診察をしています。また、診療体制が万全になり次第、さらに夜間診療にも対応していく予定です。

当センターの特徴として、総合診療のほか、CTやMRIなどの画像診断、さらに2024年秋以降に開始予定であるがんの放射線治療ができる最先端の「リニアック」を導入し、高度な獣医療を提供することが可能なことです。

当センターは、教育研究病院としての使命も担っています。農学部共同獣医学科の学生をチューデントドクターとして受け入れるだけでなく、工学部と共同で「獣医工連携」の研究にも力を入れていきます。世界レベルの治療設備を基盤として、関東圏の獣医系大学をリードするような臨床研究拠点を目指していきます。



小金井動物救急医療センター長
福島 隆治教授

充実した院内設備

処置室

来院した動物の処置を行ったり、救急対応ができるよう、麻酔器やモニター、酸素ケージなどを配置してあります。



超音波検査室

据置式の超音波診断装置と持ち運び可能なポータブル式超音波診断装置を配置しています。心臓や腹部などの超音波検査をここでを行います。



CT室

CTは撮影スライス厚0.25mmとより超高精細な描出ができる撮影装置で、X線を用いて全身の断層画像の検査ができます。



MRI室

MRIは1.5テスラで、短時間撮影が可能な撮影装置を導入しており、MRI対応の麻酔器と麻酔モニターを配置しています。強力な磁石と電波を用いて、脳や脊髄などの検査を行います。



小金井動物救急医療センター

血液検査、レントゲン検査、エコー検査、内視鏡検査、CT検査、MRI検査など各種検査を行っているほか、治療に必要な手術や麻酔にも対応。今後開始予定の放射線治療をはじめ、府中キャンパスの農学部附属動物医療センターとも連携し、高度な獣医療を提供していきます。

〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 TEL: 042-388-7474
最新の診療受付時間は病院ホームページでご確認ください。 <https://tuat-kamec.org/>

